

役立つ!

滋賀県の中小企業のための広報誌

滋賀でチャレンジし続ける
中小企業の皆さまに
読んで楽しく、身近で役に立つ
情報をお届けします。



UCHI KODUCHI

Uchide no
Koduchi

Vol.
73

令和5年6月発行

元気企業訪問

- 2P 株式会社ホリゾン
- 4P 有限会社 ABC ENGLISH
- 6P 株式会社池田製作所

起業家魂

- 8P SEA・g

プラザゼミナール

- 10P GX(グリーントランスフォーメーション)って何?

しがのミカタ

- 12P 財務省近畿財務局大津財務事務所

プラザのトピックス&インフォメーション

- 14P CO₂ネットゼロ支援室
「企業のCO₂削減取り組みを支援」
- 15P 創業支援課
「女性のためのオンラインマルシェ」
- 14・15P 滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点
「令和4年度 年間成約件数 全国トップ!」



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ

表紙写真: 米原市 鹿ヶ井の梅花園
(写真提供: (公社)ひびこビジュアルセンター)



元気企業 訪問

株式会社 ホリゾン

代表取締役社長

堀 英二郎さん

ほ り え い じ ろ う

「創れないものはない」無類の開発力で
世界進出拡大と発展を続ける
製本機器業界随一の技術者集団



本社びわこ工場航空画像

― 会社の沿革と事業内容は？

ホリゾンは、私の父・堀八郎が1946年に創業した太陽電機研究所に始まります。電気機器の試作・修理を請け負う会社でしたが、国による理科振興の方針にに応じて理科の実験機器を製作するようになりました。やがて市場規模の限界を感じ、世の中の動きに関して常に先見の明があった父は、「次に何が必要とされるか」を探し、「自社開発すべきである」との志をもって、欧州へ市場調査の旅に出ました。そして「誰でも使える簡単な」製本機の需要を確認し、1973年、最初の卓上製本機



創業当初の理科の実験機器



この4月には京都に新たな拠点が完成し、国内外からのお客様を迎えている

を開発し、一般の会社や役所、銀行、大学、病院などを訪ね歩き販売しました。それらの現場ではたくさん紙、書類を扱い、「綴じる」作業に費やしていた時間が解消され、卓上製本機は売

上を伸ばしました。本来は印刷・製本業界の中に販路があったのですが、当時の印刷・製本業界では熟練の職人さんが扱った大型の専門的な機械ばかりでした。私たちの「誰でも使える簡

単な」機械が、印刷・製本業界内でも活躍できると気づいたのは約5年後のことです。綴じるだけでなく紙折り・丁合・断裁なども機械化する必要があることがわかり、これらの周辺機器も自社開発を進め、全て自社で内製することを方針に、製本機器の総合メーカー・株式会社ホリゾンとして知られるようになりました。

― 120か国に販売網を展開するに至った経緯は？

欧米は印刷・製本の先進地域ですから、競合企業がひしめいています。しかし我々が得意と

する印刷の後加工^{あと}、紙折り・丁合・製本・綴じ・断裁すべてを自社で展開しているメーカーは他になく、各国の展示会や見本市で商品をアピールして回ると必ず手応えがありました。私は当時、海外進出を担当する販売会社ホリゾン・インターナショナルを任されていて、海外で動ける人材の育成に精魂を傾けました。社員が育ってくれたおかげで、各国の信頼できる企業人と出会い、販売網を広げることができたと思っています。



女性オペレーターも世界へ(2023年スイスでの展示会)

― 顧客から評価されている点は？

ホリゾン製品は、シンプルで使いやすい作業性の高さが非常に評価されています。最初に開発した卓上製本機も、専門知識や技術を持たない一般の人が簡

単に使えることを目指したものでした。現在は、多品種少量生産が進む印刷・出版・製本の業界でホリゾン製品が活躍しており、たった1冊のオンデマンド製本や少部数の自費出版など、趣味的な本の制作を請け負う現場で重宝されています。機械が到着したその日から誰でも扱って作業ができる。職人技の継承問題や人手不足に頭を抱える企業で喜ばれるゆえんです。

また、当社は経済産業省の「^{※1}2020年版グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。「ニッチ」とは隙間、つまり見逃されやすい事業領域のことですが、そうしたニッチ分野で勝ち抜き重要な役割を果たす優良企業だと認定されたわけですから、たいへん誇りに思っています。

※1 グローバルニッチトップ企業100選
グローバル市場で隙間産業と呼ばれるニッチ分野で高い競争力を持ち、サプライチェーンにおいて重要性が高まっている部品や素材に関する事業を有する企業を経済産業省が選定する。

― 産業支援プラザとの関わりは？

印刷・製本業界では多品種小ロット化が進むことで、いかに合理的に生産性を上げるかがシ



ショールームでは最新の後加工ラインを展示

― ビアに問われています。

その中で、従来の方式を革新する新技術の開発に挑み続けるのがホリゾンです。新技術の開発は業界の発展にも貢献することができま

す。革新的な開発のために県の工業技術総合センターとの連携に活路を求め、成長型中小企業等研究開発支援事業(GO・Tech事業)への申請に至りました。これまで様々なものを自社開発してきたホリゾンのとって連携による開発は初の経験であり、また研究開発に対する補助金申請も初めてでし

― 「元気企業」の秘訣は？

働く元気の源は食べること。

美味しく栄養のあるものを食べ、リラックスできる環境がある。これは先代社長である父の教えで、これらを社員に提供することを強く望んでいました。2020年に完成したびわこ工場の新社屋には、最も見晴らし

た。産業支援プラザからのアドバイスが功を奏して採択され、今まさに研究開発が進んでいます。

一方、2021年度には産業支援プラザの「^{※2}AI・IoT導入促進補助金」に採択され、「I

OTによる設備・工場のエネルギー管理の見える化と合理化」に取り組みました。それまでは工場全体の消費電力しか把握できなかったのが、設備別の電力管理まで可能となり、省エネはもちろん、社員の働きかたの工夫など、合理化への道筋が見えています。

の良い場所に社員食堂をつくりました。厨房を備え、バランスの良いメニューが並ぶ本格的な食堂で、昼食だけでなく希望者には夕食も提供しています。新社屋によって環境も整い、父の望みが叶ったと喜ぶと共に、社員も大変喜んでくれています。



<PROFILE>
株式会社ホリゾン

- 代表者／代表取締役社長 堀 英二郎
- 従業員／グループ国内585名(グループ総数651名)
- 所在地／(本社)びわこ工場 滋賀県高島市新旭町旭1600
- 創 業／1946年
- 事業内容／製本関連機械(商業印刷用・オフィス用)、特殊印刷機の開発・製造・販売、アウトドア機器の開発・製造・販売

TEL／0740-25-4567(代)
URL／<https://www.horizon.co.jp>

※2 成長型中小企業等研究開発支援事業(GO-Tech事業)
中小企業等が大学、公設試等の研究機関等と連携して行う、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けた研究開発及び事業化に向けた取組を一貫して支援する。

※3 AI・IoT導入促進補助金
生産性向上のためにAI・IoTを活用した仕組みを構築し、経営の改善につなげる取り組みを実施する経費を一部補助する。

元気企業 訪問

有限会社 ABC ENGLISH

代表取締役／園長

坂本 拡行さん

さ か も と ひ ろ ゆ き



0歳児から大人までを対象とした
英会話教室と滋賀県初の英語で
保育する認定^{※1}こども園を展開

小学3年生からの英語教育が必修となった中、親子で0歳児から学ぶコースなどユニークなプログラムで英会話教室を開催する一方で、滋賀県初のプリスクール^{※2}＋認定こども園を展開する(有)ABC ENGLISH。
バイリンガル教育のニーズ拡大と、保育・幼稚園の待機児童が問題となる現在、高い評価で注目を集める同社はこの2つの事業でこれからのグローバル社会への対応と地域への貢献を果たそうと活動している。

―創業のきっかけ、現在の事業内容は？

2002年に彦根市で、英語講師だったアメリカ人の妻と英会話教室を開いたのがスタートです。2005年に法人化し、現在、彦根市と長浜市で英会話教室事業、企業向け出張英会話事業、留学事業、翻訳事業、英語教育を取り入れた保育事業(認定こども園＋プリスクール)などを行っています。

創業のきっかけは、大学時代に数年間イギリスに留学した時の苦い経験がもとになっています。留学当初、現地の人たちの英語が聞きとれずまったく意思

疎通ができませんでした。中学校から英語を学んできたはずなのにさっぱり通用しない。ショックでした。その様なことから、幼児期から英語だけの環境で学べ、外国の人とコミュニケーションができるオールイングリッシュの英語学校があれば、これからの子どもたちが私のような経験をせずにすむのという思いで創業しました。

―英会話教室事業の特徴は？



事業のパートナーでもある妻の Pamela さん

リスニング、スピーキングなどのコミュニケーション能力の向上に焦点を当て、少人数制、体験型カリキュラム。講師はすべて外国人で、Only English^{※3}の環境なので、英語を理解する能力をスムーズに身につけることが期待できます。

具体的には0歳から親子で学ばう Baby & Mom クラスをはじめ、2歳児から中学生対象の子ども英会話クラス、高校生以上の大人英会話クラス、小学5年生からの英文法クラス、また幼児向けに英語教育を取り入れた認定こども園と小学生向けに英語で学童保育を行うアフタースクールなど0歳から大人まで一貫した英語教育プログラムを用意しています。

※1 プリースクール

未就学児を対象に英語で保育を行う施設

※2 認定こども園

幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持ち、教育・保育を一体的に行う施設

ジョンがありました。それに向けて子ども英会話教室を始め、小学生向けアフタースクールなどを開講。やがて保護者の方々から毎日通えるスクールを作ってほしいという声をいただくようになり、2014年、彦根市に園舎を新築し3歳児～5歳児対象の認可外保育施設「ABC ENGLISH プリースクール」を開校。2021年に2歳児クラスを加え、英語教育を保育に取り入れた、滋賀県では初の地方裁量型認定こども園のプリスクールとなりました。

―保育事業について、御社が評価されている点は？

幼児期からの英語教育を望む保護者の方が多い中、認定こども園のプリスクールは彦根市では当園だけであること、国の保育無償化政策により、3歳児～5歳児においては保育費負担が少ないこと。また、認定基準を満たすことで手厚い保育や幼児教育、保護者支援に注力できていることも評価いただいている点だと思います。

英語教育に目が行きがちですが、その基礎には、しっかりと

した保育と幼児教育、そして母国語である日本語をしっかり学んだうえで英語教育があります。なぜなら根幹には「総合的な学ば力・思考力の向上と国際人としての人間力の育成」という考え方があるからです。そのため当園では、英語教育以外に「環境教育活動」、「国際教育活動」、「英語サイエンス教育活動」、「食育活動」等の活動をしています。

また、外国にルーツを持つ子どもたちを積極的に受け入れているところも評価されている点だと思います。英語だけでなく、日本で教育を受けることができるようしっかりと日本語も習得し小学校につなげていくこと、そして保護者の方には日本で安心して子育てができるようサポートを行っています。

―産業支援プラザとの関わりは？

SDGs が広く掲げられている中、「環境教育活動」の一環で再エネ省エネの教材として、また園の電気代削減、災害時に防災の拠点となることを目的に、太陽光発電システムの設置とLED照明への切り替えを検討する中で「省エネ・再エネ等設



環境教育の一環としてソーラーパネルを見学する子どもたち

備導入加速化補助金^{※3}を知り、その支援を受け設備を導入することになりました。

手続きを進める中で「省エネ診断」を受診し、診断士さんから電力消費状況を分析していただき、電力使用状況を見える化することができました。また、節電のポイントなども指導していただき、経営面から大変有効な支援だと思っています。太陽光発電システム設置後、子どもたちが太陽光パネルを見て再エネに興味を示すなど、良い教材となっています。

―「元気企業」といわれる所以は？

従業員が元気だからです。当社は従業員のほとんどが女性で

す。そのため彼女たちが生き生きと働ける環境づくりとライフステージに合わせてフレキシブルに働ける体制づくりに取り組んでいます。

例えば1時間単位で取れる有給休暇、残業を減らす取り組み、年間休日を増やすための工夫などです。その結果、今年度は年間休日を2年前に比べ10日増やすことができた。このような取り組みによって従業員は



<PROFILE>

有限会社 ABC ENGLISH

■代表者／代表取締役・園長 坂本 拡行

■従業員／30名

■所在地／(彦根校) 滋賀県彦根市大藪町2496-1
(長浜校) 滋賀県長浜市大辰巳町3-5

■創業／2002年

■事業内容／外国語教室、学習塾、認定こども園、留学事業の運営

■TEL／0749-23-2000

■URL／<https://www.e-abckids.com>

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 CO₂ネットゼロ支援室

☎ 077-511-1424

☎ 077-511-1418

✉ co2@shigaplaza.or.jp



支援を受けて設置した LED 照明

※3 省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金

CO₂ネットゼロ社会づくりの推進、地域経済の活性化および災害時における代替エネルギーの確保等の観点から、中小企業者等の省エネ・再エネ等設備の導入に対する補助制度

身の回りにあるエネルギーについて、英語で質疑応答することも園での授業風景



元気企業 訪問

株式会社 池田製作所

代表取締役

池田 龍宏さん

い け だ た つ ひ ろ



高付加価値型工場への挑戦。 「マチカン」^(自社受注管 理システム)で全てのデータを紐づけ。 情報共有でモノづくりの変革を追求し続ける 少数精鋭チーム

鉄を切る音が私の目覚まし時計でしたー家族経営の小さな町工場。株式会社池田製作所の前身、池田鉄工所は半導体好景気の時流に翻弄されながら事業を精密樹脂加工に徐々に絞り込んだ。以来、「追求と経験は宝になる」という事業理念のもと、丁寧で精度の高い技術力と、真心ある職人技^{※1}を武器に、顧客の高い水準の要望に応えるべく、**滋賀型ニッチトップ企業**へと成長し続けている。



培った知識と技術はデータによって受け継がれている

ー創業から現在までの道のりは？
1971年に、父の池田幸太郎が池田鉄工所を創業しました。主にボルトナットを製造する鉄工所で、よく言われる「三ちゃん工場」ですね。家の半分が工場で、いつも真つ暗。油の匂いが家中に染付いていて、歩けば鉄のキリ粉が靴に刺さる。従業員はお父ちゃんとお母ちゃん、そして私たち子どもでした。中学生くらいになると自然と仕事に従事しました。家族の会話は納期と景気。毎朝、起きると鉄を切る音がしていました。私の目

覚まし時計ですよ。当時はほぼ土日もなかったような記憶があります。そんな感じの日本全国何処にでもある、家族経営の町工場でした。
もともと産業用機械製造会社の下請けあるいは孫請けとして受注している立場から、1980年代になって日本の半導体加工技術が世界を席巻するなか、顧客企業のニーズの変化に伴い、精密樹脂切削加工に特化した事業へと徐々に転換しました。この頃、池田製作所と社名も変更

ー何をつづけている会社？
弊社がつくる樹脂製品の多くは、半導体洗浄装置の内部にある部品で、一般の人の目に触れることがありません。
近年の3D技術の向上により、多種多様な形状の樹脂製品を顧客企業から求められます。柔らかい物であったり、全て曲面で角がなかったり。このような製品を精度よく加工するには、加工条件に悪影響が出ないように確実に固定する治工具と呼ぶ工具が必要になります。これは金型や木型の役割をします。樹脂

に特化した弊社の知識と技術は、形に捉われない柔軟な作りこみに加え、同業他社では対応できない製品や敬遠されるような仕事に付加価値を付けて受注することが可能です。
主に取り扱う樹脂はエンジンアリング・プラスチックといった、高温に耐えうる、あるいは薬液に耐えうる高付加価値な樹脂です。用途によって求められる特性が異なるので、添加物も多岐にわたります。ありがたいことに過去の実績やパラメータは顧客に満足を提供する最大の

ツールとなっています。

また、独自の加工プログラムや受注管理システム「マチカン」^(マチ工場を丸ごとカン理)を開発し、2024年4月発売予定です。さらに5月に完成した広大な新社屋は福利厚生が充実し、24時間稼働するロボットの導入を予定しています。今後はモノ造りだけでなく、知識を提供するサービスもしていきたい。今は大きく変わる時代と小さな町工場の変化を楽しんでいます。

れば何も生み出せない。そこにイノベーションは起きず、不毛なだけです。仕事は楽しくなくてはならない。子供の頃に経験したワクワクを思い出せ。思いっきりやって失敗した後に経験という宝物が残る。
同じ情熱を持った9名と共に時間を共有できることが弊社の強みに繋がっています



「マチカン」は全てのデータを一瞬で紐づけ、容易に管理。作業効率の向上に貢献する

スト^{※2}で、お客様がほんの些細なエッジで手を切らないように、工作機械を稼働させながら「真心のバリ取り」をします。人の手による品質のバラつきは否めないの、何個でも同じ真心をプログラミングで表現しています。

その中で、プレゼンやスピーチをさせていただくことがあります。町工場にとっては、社外に向けて自社をアピールする貴重な経験です。チャンスは自分たちで作るもの。池田製作所は地域を牽引する町工場を目指します。

ー顧客から評価されている点は？
他社にはないスピードだと思っています。今の時代、グズグズしていると仕事は逃げますから。

「マチカン」の効果で効率よく

製品が生産されます。いつでも製品のアドレス（現在の進捗や場所）が特定できるのでお客様に信頼性の高い納期回答が可能です。

何よりモノ（加工プログラムやCADデータ、申し送り事項等の必要な情報）を探す時間が省けるため、工数削減に貢献します。VBA^{※1}で無駄な事務作業の削減や簡略化ができます。実際の加工に関しては極力プログラミングで手加工をなくすように心がけています。ユーザーファ

ー産業支援プラザとの関わりは？
従来の技術にさらに磨きをかけ、新分野にも挑戦し、企業としてさらに飛躍を図りたいと考えて、2021年度の「滋賀型・NT（ニッチトップ）企業創出支援事業」に応募し、審査のうえ採択されました。現在、5か年計画の3年目となります。産業支援プラザの皆様には公募以前から目をかけていただき、アドバイスを受けていました。採択されると専門家派遣の優遇措置を受けられますし、私にとっては、プラザの皆様の思いもよらない視点からの鋭い指摘が胸に響き、学ぶところが大きいです。

同事業の「O.T分科会」ではリーダーをさせていただいています。弊社にとっては、異業種で活躍されている企業との交流ができる分科会は絶好の機会であり、毎回楽しみにしています。



<PROFILE>
株式会社 池田製作所
■代表者／代表取締役 池田 龍宏
■従業員／9名
■所在地／滋賀県蒲生郡日野町別所900
■創業／1971年(池田鉄工所)
■事業内容／精密樹脂切削、試作品およびモデリング提案製作、各種治工具製作
■TEL／0748-43-0840
■URL／<https://ikeda-pura.main.jp/index.html>

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 販路開拓課
☎ 077-511-1413 ☎ 077-511-1418
✉ hanro@shigaplaza.or.jp

※2 滋賀型・NT（ニッチトップ）企業創出支援事業

県内の中小企業者を対象に、成長の可能性や意欲を持ちながら、自社で高付加価値への取り組みを行うにいたっていない中小企業者へ、競争力のある技術力・商品力等備え、市場を獲得する提案型企業（ニッチトップ企業）へと成長する道筋を明らかにし、その実現へ向けた伴走支援を行うことで、魅力ある産業・質の高い雇用の創出を図ることを目的とする。

※1 VBA(Visual Basic for Applications)

Microsoft Officeに含まれているアプリケーションソフトの機能を拡張できるプログラム言語

性別や年齢に関係なく楽しめる eスポーツで滋賀を盛り上げ、 活性化につなげたい



起業家魂



eスポーツ事業所 SEA・g

草川 海斗さん
くさかわ かいと

<PROFILE>
eスポーツ事業所 SEA・g
■代 表 者／草川 海斗
■所 在 地／滋賀県米原市下多良2-137 文化産業交流会館4F 9区画
■創 業／2022年4月
■事 業 内 容／eスポーツイベントの企画・提案・実施・運営、配信機材を用いた
配信業務の実施・サポート、eスポーツに関連する講演やレクチャー指導
■TEL／080-9349-8955 ■E-mail／kaito.kusakawa@esports-seag.jp
■URL／http://www.esports-seag.jp/



本格的なドライビングシュミレーターでデモンストレーション

2024年開催のパリオリンピック・パラリンピックの種目として採用が検討されるなど、今、世界的に注目を浴び市場規模も急速に拡大しているeスポーツ。
米原市で開業した「SEA・g（シー・ジー）」では、この新しいスタイルのスポーツで県内を盛り上げ、地域の活性化を図る事業に取り組んでいる。

「eスポーツ（e-sports）」とは、その魅力は？
Electronic Sports
の略で、ビデオゲームを使った対戦を競技として捉える際の名称
です。

「eスポーツ（e-sports）」とは、その魅力は？
Electronic Sports
の略で、ビデオゲームを使った対戦を競技として捉える際の名称
です。

海外から広まったもので、日本では2016年頃から注目されるようになり、現在では大会やイベントも多く開催されています。大手企業がスポンサーとして参入する例もあり、男女問わず幅広い年齢層の観客や参加者が集まることで盛り上がりがあります。

2025年に滋賀県で開催する「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会（わたしが輝く国スポ・障スポ）」では文化プログラムとして採用されています。

「eスポーツとの出会いは？」

高校生の時にパソコンのオンラインゲームをしていたのですが、そこで知り合った方に教えてもらいました。高校卒業後に通った専門学校にeスポーツに関する学科があり、その中でプレイヤーではなく、その魅力を広げるイベントなどをプロデュースする、いわば裏方の勉強をしました。

しかし学校では理論は学べるものの実践の機会がありませんでした。そのようなときに滋賀県でeスポーツの促進・発展、選手の育成、イベントの企画や運用などの取組を行う「滋賀県eスポーツ協会」を知りすぐに参加しました。現在は一般社団法人となった同協会の副代表理事として協会の運営に携わっています。

「起業したきっかけは？」

当時、滋賀県ではeスポーツはそれほど普及しておらず、知る人も少ないという状況の中で、協会の活動に携わるうちにeスポーツで滋賀県を盛り上げたいという気持ちが徐々に芽生えてきました。卒業後はeスポーツ関連の企業に就職するという選択肢もあったのですが、そのような



常駐する専門スタッフが入居後も様々な面でサポートしてくれる

企業は始どが都市部に限られていました。それなら学校や協会で培った知識を滋賀県での普及・発展に役立てようと思ったのが2022年に起業したきっかけです。

多分滋賀県ではこのような業態の企業は弊社だけだと思えます。それだけにやりがいやおもしろみがあります。

「米原SOHOビジネスオフィスを知ったのは？」

起業に関する知識が全くなかったため、米原市の創業塾セミナーを受講して勉強しました。

「入居しての感想は？」
まず、入居に際して審査があります。起業の目的やいかに事業を継続させていくかなどをまとめた計画書を提出し審査されるのですが、中途半端なものでは採用されないため、事業計画を練るよいきっかけになりました。
米原SOHOビジネスオフィスには起業・創業をサポートする専門家の方が常駐されており、資金繰りや事業を続けていく上でのノウハウなどを丁寧に教えていただけです。また様々なテーマでのセミナー開催や入居者同士の交流・情報交換のイベント開催など起業した後のサポートも充実しています。

「現在の事業内容は？」

eスポーツイベントの企画・実施、配信機材を用いた配信業務、講演やレクチャー指導などが主な事業です。

とりわけ今は2025年の「わたしが輝く国スポ・障スポ」に向けて、県内での認知、普及の拡大を目指して学童や高齢者を対象としたイベント開催などのPR活動に取り組んでいます。



PRイベントを開催し、eスポーツの普及を目指す

特にeスポーツに馴染みの薄い高齢者には認知症の予防や、ゲームを通じてお孫さんなど若い世代と交流するきっかけになることが目的です。そのため操作が簡単、見やすい画面などをポイントにゲームタイトルを決め、ルールや内容を理解してもらってから対戦に進むというプロセスで高齢者の方が楽しめるよう工夫をしています。



学童や高齢者を対象としたイベント

滋賀県での普及がそれほど進んでいないとは言え、ビデオゲームを楽しんでいる人は沢山いるはず。長期的には、県内におけるeスポーツの認知・普及がある程度進んだ段階で、潜在するゲーマーの中からeスポーツに向かおうとする人材を掘り起こし、プレイヤーだけでなく私のような裏方の仕事に携わる人も増やしていきたい。そうして滋賀県がeスポーツ先進県と言われる様になるのが私の夢です。

GXって何？

(グリーン・トランスフォーメーション)

温室効果ガスの 排出削減と産業競争力の 両立を目指す！

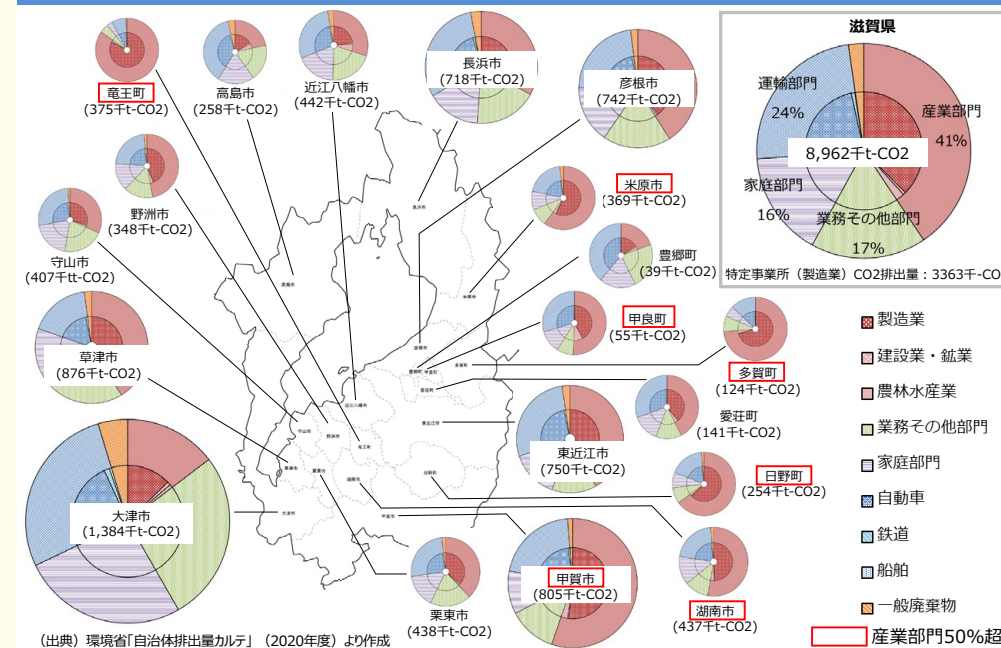
2020年10月、政府は「2050年カーボンニュートラル宣言」を行い、その実現に向けて温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる道筋を探る中で、「GX実現に向けた基本方針」が2023年2月に閣議決定されました。今後は地域においてもその内容を具体化していく段階です。

ところで、この「GX」とは何なのでしょう。今年度からカーボンニュートラル推進室長に就任された、近畿経済産業局の織田貴士さんに解説していただきました。



経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進室長 織田 貴士 さん
おだ たかし

滋賀県 CO₂排出量 - 部門・分野別 -



GX(グリーン・トランスフォーメーション)って何ですか？

簡単に言うと、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動の総称です。2050年のカーボンニュートラルや、2030年の国としての温室効果ガス排出削減目標の達成に向けた取り組みを経済成長の機会と捉え、これをビジネスチャンスとして産業競争力を高めていったり、ひいては社会のシステム全体を変革していくという動きのことです。



なぜGXに取り組むのですか？

- ①カーボンニュートラルを宣言する国・地域が増加し、排出削減と経済成長を両方とも実現しようとする投資が世界で急速に拡大しているという背景があります。
- ②ロシアによるウクライナ侵攻が、国際的なエネルギー安全保障上の課題を浮き彫りにし、安定したエネルギー確保がクローズアップされました。
- ③今や温暖化対策などの環境保全は、全世界的に大前提の共通認識であり、いかに効率よく進めるかというフェーズに移行しています。そのため、経済社会の発展とエネルギー確保を両立させるべく、GXの推進が世界中で急務となっています。

国はGXに対してどういう施策を発表していますか？

大きく2つの軸があります。

①エネルギー安定供給の確保を大前提としたGXの取り組み

エネルギー資源の多くを海外からの輸入に頼らないといけない日本にとって、今後重要となるのがエネルギーの安定確保です。具体的には、徹底した省エネの推進や、再生エネの主力電源化、原子力の活用、水素・アンモニアの導入促進等の取り組みを更に進めていく必要があります。

②「成長志向型カーボンプライシング構想」等の実現・実行

GXの実現には、脱炭素が期待される様々な分野の課題を解決するための投資が必要で、試算では、今後10年で150兆円を超える規模の投資が必要と想定されています。

その一部を「GX経済移行債」(仮称)により調達し、産業競争力の強化や経済成長と排出削減の両立に貢献する分野への大胆な先行投資を促進します。

また、企業などが排出するCO₂(カーボン・炭素)に価格をつける「カーボンプライシング」により排出削減に資する取り組みを促進するとともに、先行投資を行った事業者インセンティブ(優遇措置)が付与される仕組みを併せて創設します。

なお、「カーボンプライシング」については、化石燃料輸入事業者等に対する「炭素に対する賦課金」や、発電事業者に対し有償で排出枠を割り当てる「有償オークション」等の導入が予定されており、これらの将来財源を2050年までの「GX経済移行債」償還に充てる方針です。

中小企業にとってGXに取り組むメリットは？

中小企業にとっても脱炭素の取り組みは、光熱費・燃料費削減といった経営上の「守り」だけでなく、次のように取引機会の獲得、売上拡大、金融機関からの融資獲得といった「攻め」の要素に繋がります。

- ①企業イメージの向上
- ②ブランディングによる社会的評価の向上
- ③社員のモチベーション向上や人材獲得力の強化
- ④好条件での資金調達

逆に言えば取り組みが消極的な場合、取引先から「脱炭素に取り組まなければ、もう取引しませんよ」と言われる可能性が高まることも考えられます。

GXの取り組みの意義は理解しましたが、まず何から始めたらいいですか？

まずは「省エネ」への取り組みが基本です。省エネを進めていく上で必要なのは「測る」こと、つまり自社の消費電力やCO₂排出量を把握することです。意外と、この「測る」をしていない事業所が多いのです。

「測る」ことに対しての支援や補助のメニュー、測ったデータに基づいて実施する省エネ活動に対する支援もあります。省エネを実施した結果、消費電力やCO₂排出量削減の効果が目に見えて、電気代が安くなり、経営的にも改善した——そこがまず、いちばん実感できることです。支援メニューを利用して、「省エネ」への取り組みを「測る」ところから始めていただきたいと思います。

近畿経済産業局はどのような支援を行っていますか？

地域や産業界等を通じて面的な支援を行っています。産業支援プラザをはじめ、公的支援機関へのアプローチはもちろん、自治体や業界団体とも連携し、脱炭素へ向けたさまざまなアクションを後押ししています。相談・質問、何でもお問い合わせください！

■説明会やセミナー

入門編、応用編など取り組みの段階に応じた内容で実施できます。昨年度はカーボンニュートラル関連のセミナー等に70回以上登壇しました。

■省エネ相談窓口

省エネの足掛かりや省エネ効果の試算等を省エネ技術指導員がアドバイスします。

■カーボンニュートラル入門リーフレット

近畿地方環境事務所と連携して作成した、カーボンニュートラルの取り組みイメージをわかりやすく図解した入門リーフレット「カーボンニュートラルって何なん？」を用意しています。



問い合わせ先 (公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 CO₂ネットゼロ支援室
☎ 077-511-1424 ☎ 077-511-1418 ✉ co2@shigaplaza.or.jp

産業支援プラザでは、カーボンニュートラルに取り組む県内事業者に対して、様々な支援を実施しています。詳細はホームページでご確認ください。



しがのミカタ

滋賀県のさまざまな中小企業支援機関を紹介する「しがのミカタ」。
今回は、財務省近畿財務局 大津財務事務所を紹介します。

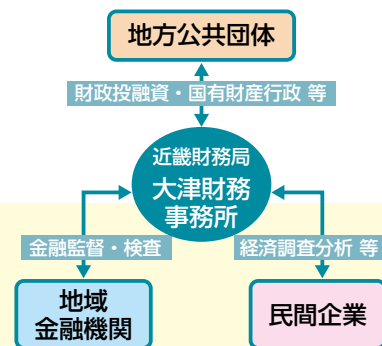
財務省近畿財務局 大津財務事務所

所長（地方創生コンシェルジュ）

大野 隆幸 さん

おおの たかゆき

団体、金融機関、民間企業とのネットワークを活かし、これらの「つなぎ役」として地域の課題やニーズの解決に向けたセミナーやワークショップを企画・提案するなど地域連携および地方創生支援に取り組んでいます。



〈多彩なネットワークで地域の「つなぎ役」に〉

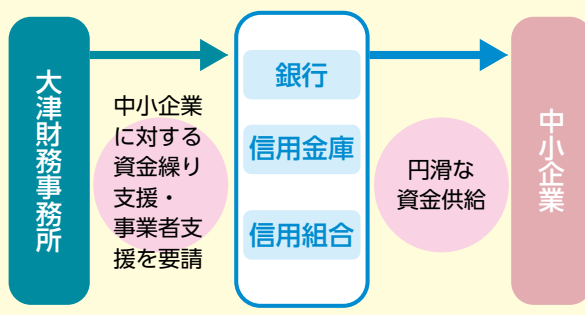
例1：おごと温泉地域活性化
700年代に最澄によって開湯されたといわれるおごと温泉地域の活性化に向けて様々な視点から支援を行う取り組み。（おごと温泉旅館協同組合・滋賀県立大学）

― 近畿財務局とは？ ―
地域における財政と金融の総合出先機関で、近畿2府4県において財政、国有財産、金融、証券に関する業務を総合的にを行い、また、近畿地方の経済情勢や金融動向を把握し、財務省や金融庁の施策に反映させるなど、地域経済に密接に関連した業務を行っています。滋賀県では私たち大津財務事務所がその役割を担っています。

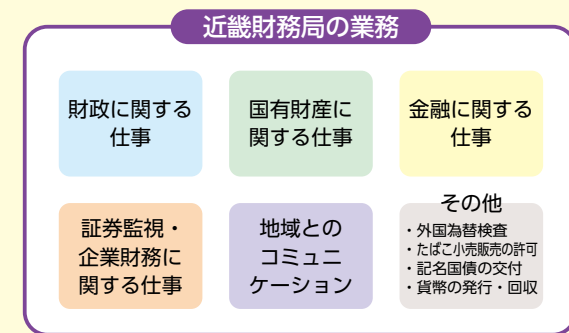
例2：地域未来ミートイング
「起業家の集まるまち守山」を目指す守山市との共催で、直近（第4回）は女性の起業支援を推進する目的で開催。（女性起業家・金融機関・産業支援プラザ等支援機関）

産業支援プラザと当所は「滋賀創業サポートネットワーク」を通じて連携し、社会的課題や地域課題を解決する新事業の創出に努めています。

― 滋賀県における中小企業への支援は？ ―
当所は、中小企業への貸付を行う



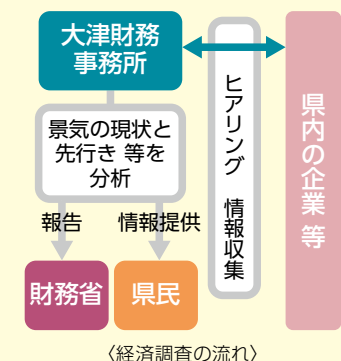
〈金融機関が行う事業者支援へのバックアップ〉



― 大津財務事務所の主な業務内容とは？ ―
① 財務省、金融庁の所掌に関する業務
大津財務事務所（以下「当所」）は、財政、国有財産に関する業務や民間金融機関等の監督・検査の業務を行っています。また、滋賀県の経済動向を財務省の施策に反映さ

せるために、県内の企業等へヒアリングするなど地域経済に関する情報収集分析（経済調査）を行い、各種経済関係資料を公表し、情報提供を行うなど、地域の皆様にも広くご利用いただいています。

② 地域連携・地方創生支援
当所は、国の各省庁や地方公共



〈経済調査の流れ〉

また、滋賀県信用保証協会や滋賀県よろず支援拠点（産業支援プラザ内）など、中小企業を支援する公的支援機関とも積極的に連携・協働しています。例えば、これらの公的支援機関との意見交換や金融機関へのヒアリングなどを通じ、事業者支援態勢の実効性を確認するといった業務も行っています。

動が重要だと思っています。ITの積極活用。そして実際にお会いして話をすることは人の心の内や情熱を理解するうえで重要な方法だと思っているので、「1対1」と「対面」の2つを両輪にして業務遂行し、当所の認知度を高め、事業のことで疑問や相談があれば気軽に当所を頼っていただけるような存在になりたいと思っています。

― 今後の課題や目標は？ ―

当所（大津財務事務所）の存在を知ってもらうことです。民間事業者の方は無論のこと、各市町の首長さんや経済団体のリーダーの方でさえ我々が国の機関であることをご存じないことが多い。「名前を知っているが何をやっているのかワカラン...」と。だから、まずは我々の存在をアピールすること、これにつきます。そのためには広報活



大津財務事務所 若手職員のみなさん

問い合わせ先
財務省近畿財務局 大津財務事務所 住所 滋賀県大津市京町3丁目1-1 大津びわ湖合同庁舎7階
☎ 077-522-3765 URL <https://lfb.mof.go.jp/kinki/239.html>
開庁時間 8:30~17:15(土日祝、年末年始は休み)



ライフステージに左右されない働き方を目指して！ 女性のためのオンラインマルシェ

オンラインマルシェ事業とは

オンラインマルシェは、“家にいながら”をキーワードとして、得意分野を活かしてビジネスチャンスを得ることができる有効な手段です。子育てや介護など様々な環境にいる女性が、得意分野を活かした自作の商品やサービスなどを実際にオンラインマルシェで出店するために、様々な知識やノウハウなど、基礎から実践までのスキルを学ぶ場を提供し、女性の新たなチャレンジを支援します。

オンラインマルシェに出店するには

- 1 入門編セミナーに参加!** オンラインマルシェへの出店に向けて、まずは基本的なインスタ活用術やオンライン接客などのノウハウが学べます。
- 2 実践編セミナーに参加!** インスタを使った集客導線のつくり方やオンライン決済方法など、オンラインマルシェに出店するための実践的なノウハウが学べます。
- 3 フォローアップを受ける!** 専門家などからのアドバイスを受け、悩みを解決します。
- 4 オンラインマルシェに出店!** さあ、実際に出店してみましょう!

セミナー・オンラインマルシェの日程

メイン会場：コラボしが 21 1 階 Biz Base コラボ 21 (Zoom 参加可)
サブ会場：滋賀県立男女共同参画センター、米原 SOHO ビジネスオフィス

- 入門編セミナー**
- 第1回 令和5年7月 8日(土) 10時～12時
「オンラインで起業するには何が必要か?」
 - 第2回 令和5年7月15日(土) 10時～12時
「オンラインマルシェに必要なSNSの基礎知識」
 - 第3回 令和5年7月22日(土) 10時～12時
「オンラインマルシェのインスタ活用術 入門編①」
 - 第4回 令和5年7月29日(土) 10時～12時
「オンラインマルシェのインスタ活用術 入門編②」
～インスタを使ってビジネスに必要な導線作り～
 - 第5回 令和5年8月 5日(土) 10時～12時
「オンライン接客 oVice*編」
- *oViceとは、オンライン上でマルシェ等を開催できるツールのひとつです。

- 実践編セミナー**
- 第1回 令和5年9月 2日(土) 10時～12時
「イベントだけで終わらない集客導線講座」
～イベント後も長く集客するために～
 - 第2回 令和5年9月 9日(土) 10時～12時
「オンラインマルシェのインスタ活用術 実践編」
 - 第3回 令和5年9月16日(土) 10時～12時
「オンライン決済講座」
 - 第4回 令和5年9月23日(土) 10時～12時
「Google スライドを使ったオンライン接客方法」
 - 第5回 令和5年9月30日(土) 10時～12時
「oVice を使ってオンラインマルシェに出店してみよう / リハーサル」



第1回 令和5年10月28日(土) 第2回 令和5年12月2日(土)

詳しくはオンラインマルシェホームページをご覧ください。 <https://onlinemarche.localinfo.jp>

主催：滋賀県立男女共同参画センター

問い合わせ先 経営支援部 創業支援課 ☎ 077-511-1412 ✉ e-mail: in@shigaplaza.or.jp

企業のCO₂削減取り組みを支援



CO₂ネットゼロ支援事業とは

「エネルギーの徹底した見える化」と「省エネ／再エネ機器の導入促進」を軸に、県内中小企業のCO₂ネットゼロへの取り組みを支援します。事業者の皆様は、CO₂削減に向けた取り組みの状況に応じた支援を受けながら、ネットゼロを進め、温室効果ガスの排出抑制や企業価値の向上につなげることができます。

支援・補助金の募集内容



省エネ診断

電気、ガス、重油等を含め、事業所全体の省エネについて診断します。

対象事業者 (下記①②の条件を満たす者)

- ①滋賀県内に事業所がある中小企業者
- ②エネルギーの使用量が原油換算で年間1,500kL未満の事業所

募集期限 令和5年10月31日(火)

*予算の範囲内で対応するため、期限前に募集を終了する場合があります。

こんな方におすすめ

- ・事業所のエネルギーの使用状況を知りたい。
- ・取引先から省エネに関する取り組みを要求されている。



省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金

事業所の省エネに繋がる設備の更新や、再エネ設備の導入に対して補助を行います。

募集期限 令和5年10月31日(火)

*予算の範囲内で対応するため、期限前に募集を終了する場合があります。

省エネ設備 上限100万円 補助率1/3以内
再エネ設備 上限200万円 補助率1/3以内*

*導入設備の種類により、上限が異なります。
指定避難場所の場合、別途補助率および補助限度額の上乗せがあります。



次世代自動車普及促進事業補助金

次世代自動車や充電設備の購入に対して補助を行います。

募集期限 令和6年2月16日(金)

*予算の範囲内で対応するため、期限前に募集を終了する場合があります。

次世代自動車
EV・PHV …10万円 FCV …20万円
充電設備*
普通充電 …上限10万円 急速充電 …上限30万円
*設備本体価格の1/2を上限とします。

省エネ伴走支援

省エネ診断を受けた後、省エネ診断で受けた提案に対する取り組みを支援していきます。

Support

こんな方におすすめ

- ・省エネ診断の結果を有効活用したい。
- ・取り組みを行いたい、社内での運用が難しい。

詳しくはCO₂ネットゼロ支援室ホームページをご覧ください。 <https://www.shigaplaza.or.jp/co2-net-2022top/>

問い合わせ先 連携推進部 CO₂ネットゼロ支援室 ☎ 077-511-1424 ✉ e-mail: co2@shigaplaza.or.jp

令和4年度 年間成約件数 全国トップ!

滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点



滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点とは

内閣府が地方創生プロジェクトのひとつとして、全国46道府県に設置しスタートした、プロフェッショナル人材戦略拠点。企業の経営課題を解決すべく人材の採用・活用において伴走支援し、2023年3月末時点で、全国で累計87,000件の相談を受け、累計22,000件余りのマッチング実績で、高い評価を受けています。

2015年に開設し、9期目を迎えた滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点は、累計相談件数4,175件(全国2位)、マッチング件数1,100件(全国5位)、特に2022年度は、単年度成約件数288件(全国第1位)、相談件数1,086件(全国3位)という成果で、県内中小企業の人材への投資意欲の高まりを実感しています。



「企業は人なり」と言われる通り、今、企業の成長戦略として“人的資本経営”の重要さがクローズアップされています。

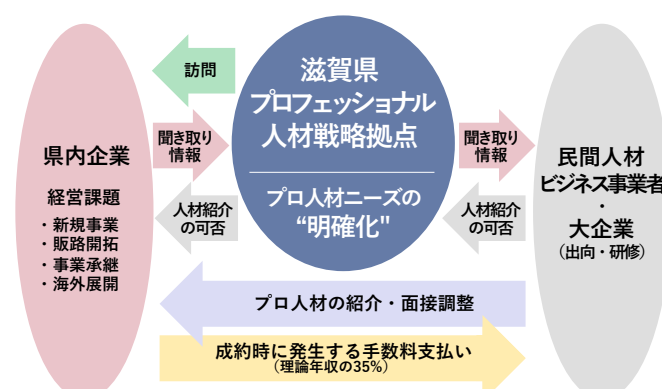
「人に投資し人を大切に」を企業と共有しながら、拠点の進化(深化)を目指します。今後も積極的に当拠点をご活用ください。

詳しくは滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点ホームページをご覧ください。
<https://www.shigaplaza.or.jp/projin/>

問い合わせ先 滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点

☎ 077-511-1419 ✉ e-mail: s-pro@shigaplaza.or.jp

滋賀県プロフェッショナル人材戦略事業のしくみ





・掲載内容は予定ですので変更する場合があります。・開催日の約1カ月前から参加募集しますので、詳細はプラザのホームページ、またはメールマガジンをご確認ください。

開催予定日	イベント・セミナー名	概要	担当課
6月30日(金)	CO₂排出削減を目指す事業者向け支援制度説明会 ◆会場: 滋賀県東近江合同庁舎	事業者から質問が多い省エネ診断、省エネ・再エネ補助金の申請書類の記載方法を中心に、支援制度の概要を含めて説明します。 ◆対象: 事業者、支援機関 ◆定員 30 名	CO ₂ ネットゼロ支援室
① 7月 6日(木) ② 7月25日(火)	製造業向け営業力UPセミナー ◆会場: コラボしが21	営業力向上を図る県内中小企業の経営者や営業(商談)担当者向けの、短時間で効果的に「顧客の心をつかむ」ために必要なアプローチからアフターフォローまでを学ぶことができる連続セミナーです。	販路開拓課
7月 7日(金)	CO₂排出削減を目指す事業者向け支援制度説明会 ◆会場: 滋賀県甲賀合同庁舎	事業者から質問が多い省エネ診断、省エネ・再エネ補助金の申請書類の記載方法を中心に、支援制度の概要を含めて説明します。 ◆対象: 事業者、支援機関 ◆定員 30 名	CO ₂ ネットゼロ支援室
① 7月 8日(土) ② 7月15日(土) ③ 7月22日(土) ④ 7月29日(土) ⑤ 8月 5日(土)	女性のためのオンラインマルシェ入門編セミナー ◆メイン会場: コラボしが21 サブ会場: 滋賀県立男女共同参画センター、米原SOHOビジネスオフィス(オンライン併用)	オンラインマルシェへの出店にむけて、まずは基本的なInstagram活用術やオンライン接客などのノウハウが学べます。 ◆定員: 50 名	創業支援課
7月11日(火)	令和5年度第1回オープンイノベーション推進シンポジウム ◆会場: コラボしが21 (オンライン併用)	オープンイノベーションにより新技術や新製品の開発をリードする企業・講師の講演を通じて、企業の新しい事業分野への挑戦を後押しします。 ◆対象: 事業者	イノベーション推進課
7月20日(木)~21日(金)	しがビジネスマッチング会 in 草津 ◆会場: 草津市立市民総合交流センター(オンライン併用)	県内中小企業の今後の受注機会拡大と新規取引先開拓を図るため、県内外の発注企業との新規取引のきっかけづくりとなる商談会です。	販路開拓課
7月21日(金)	CO₂排出削減を目指す事業者向け支援制度説明会 ◆会場: 滋賀県湖東合同庁舎	事業者から質問が多い省エネ診断、省エネ・再エネ補助金の申請書類の記載方法を中心に、支援制度の概要を含めて説明します。 ◆対象: 事業者、支援機関 ◆定員 30 名	CO ₂ ネットゼロ支援室
7月21日(金)	出張相談会 in 草津 ◆会場: キラリ草津	新たにビジネスをお考えの方、企業経営でお悩みの方などを対象とした出張相談会です。	経営相談室
7月21日(金)	“副業人材”活用セミナー&相談会 in 長浜 ◆会場: 長浜商工会議所	プロフェッショナル人材事業やプロ人材雇用・副業に係る滋賀県補助金の説明、個別相談会を行います。ネット販売やSNS活用、デジタル化などに詳しい人材のご紹介が可能です。 ◆定員: 先着 30 名	プロ人材拠点
7月24日(月)	しが産業生産性向上セミナー ◆会場: コラボしが21 (オンライン併用)	講演「中小企業のDX人材の探し方・育成の仕方」や実例報告を通じ、中小企業のDXへの着手の糸口をつかむことができるセミナーです。 ◆対象: 滋賀県内の企業、事業者等	しが産業生産性向上経営改善センター
7~8月予定	しがオープンイノベーションフォーラム異業種交流会 第2回定例会 ◆会場: 未定	会員間の意見交換を通じて相互の発展を目指し、異業種の企業の交流会や講演の受講、現場見学を行います。 ◆対象: 「異業種交流会 Biwa_connex」会員	イノベーション推進課
8月予定	第1回医療機器開発セミナー ◆会場: 滋賀医科大学(オンライン併用)	新たな医療機器開発に意欲的な企業を対象とした、医療機器開発のための実践的な知識を学ぶセミナーです。 ◆対象: 「しがオープンイノベーションフォーラム」会員	イノベーション推進課
① 9月 2日(土) ② 9月 9日(土) ③ 9月16日(土) ④ 9月23日(土) ⑤ 9月30日(土)	女性のためのオンラインマルシェ実践編セミナー ◆メイン会場: コラボしが21 サブ会場: 滋賀県立男女共同参画センター、米原SOHOビジネスオフィス(オンライン併用)	Instagramを使った集客導線のつくり方やオンライン決済方法など、オンラインマルシェに出店するための実践的なノウハウが学べます。 ◆定員: 30 名	創業支援課
① 9月14日(木) ② 9月28日(木) ③ 10月12日(木) または26日(木) ④ 11月 9日(木)	初級~基礎 Instagram活用 ◆会場: コラボしが21	小規模事業者にも使いやすいマーケティング・ブランディングツールであるInstagramの効果的な活用手法を学ぶ連続セミナーです。	よろず支援拠点
10月 4日(水)~6日(金)	関西機械要素技術展 M-Tech KANSAI ◆会場: インテックス大阪	「しがオープンイノベーションフォーラム」会員による製品・保有技術の展示を行い、県内中小企業が持つ技術と県内外を問わず幅広いIT企業との技術マッチングを行います。	イノベーション推進課
10月20日(金)	“副業人材”活用セミナー&相談会 in 甲賀 ◆会場: 滋賀県甲賀合同庁舎	プロフェッショナル人材事業やプロ人材雇用・副業に係る滋賀県補助金の説明、個別相談会を行います。ネット販売やSNS活用、デジタル化などに詳しい人材のご紹介が可能です。 ◆定員: 先着 30 名	プロ人材拠点



公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ

(公財) 滋賀県産業支援プラザは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21<2階>

TEL: 077-511-1410(代表) FAX: 077-511-1418(共通)

[E-mail] info@shigaplaza.or.jp [URL] https://www.shigaplaza.or.jp

